

EM 2004, DR. PENG REALIZOU TRATAMENTO GRATUITO NA ASSOCIAÇÃO HIROSHIMA.
 ATENDEU ALGUNS PACIENTES COM PROBLEMAS NO CORAÇÃO E DERRAME.
 APÓS TRATAMENTO DEU PALESTRA E FALOU SOBRE AVC.



治療を施すペンギ先生

脳卒中の予防

心臓病、脳卒中、悪因である。こうした病氣性腫瘍は現在の三大死にかかれば、患者の苦し

ペンギ・文・育

さん

鍼灸の魔術師

(4)

注意事項：ペンギ先生の経験では、脳卒中は朝発生する率が高く、高血圧症が70%で、特に夜のおトイレや電話に出る場合は、急がず、あわてず、おちつくことで、発病率をかなり低下させることができる。

放血救命法：脳卒中は突如猛威をふるって襲い、死亡率は高く後遺症も重い。今話題になっているペンギ先生の治療の驚くべき即効性は「点刺放血」療法によるところが大きく、先生は古今名医の刺法を大成、多くの臨床経験に基づいて、脳卒中以外にも心疾患、胃病、腰痛、ヘルニア、リュウマチ、腎炎、喉痛、肝腫大、等80余種の急性痛を数秒間でやわらげ、病勢を削いでいる。そのうちいくつかの、長年の研究および経験上の特効療法を公開し人命を救う一助となっている。先生は意図し

脳卒中は脳細動脈の破裂による脳出血、脳動脈内へ血栓が流れ込み内腔をふさいでしまう脳塞栓等が含まれており、脳部に酸素が行き渡らず脳圧が高まり昏迷状態に陥つたりする。その時は患者を動かしてはいけない。動かすと脳細血管の破裂を加速し、或いは血塊の血管内移動を進行させ致命的障害を引き起こすことがある。また、車の振動、衝撃も状態を悪化させる。あわてず放血療法をはじめ。

方法：血糖針、注射用の針、又は縫い針をよく消毒し、患者の両手の10本の指先を刺し二、三滴血を出す。押しだしてもよい。たいてい数分後には意識が戻る。

もし目や口が歪んでいたら患者の耳を赤くなるほどさすり、両耳の耳飾をつける穴のあたり及び耳の後ろの青筋のところが刺し二滴は

かり血をとると脳圧が下がる。少しおちついたところで医者か病院につれていく。こうした処置をとれば後遺症も少ない。

治療：陰陽の平衡、五行の調合(肝、心、脾、肺、腎)、気を養い充足する。針のツボ：霊骨(澤田合谷)、大白、三黄、三皇、三里、三公。ペンギ先生の針法は多年の苦心の結果樹立した独自の手法で、ブラジルでは独一無二、伝統的の十四針法とは異なる。

灸法：関元、氣海、三里、湧泉、内関。お灸は氣を強化し、内臓の精氣を増強、血液循環を促進する。また、長生き、老化防止、精力増加にも良い。

薬草：補陽環五湯、黄耆五物湯、小續命湯。疑問点があればペンギ先生に直接お問い合わせ下さい。電話：3228-0030 3326-3927

みはもちろん、家族、友人、社会全体にまで及ぼす影響は大きい。今回は、脳卒中を取り上げてみよう。

脳卒中を引き起こしやすいのは：心臓病、糖尿病、血管瘤、高血圧、動脈硬化、妊娠、産後、タバコ、酒類、避妊薬、肥満、高血圧、怒り易いタイプ(A型性格)等である。

予防：上記のアイテムにあてはまる人は、早急に治療する必要がある。特に高血圧症は血圧を下げる、気持ちにゆとりを持つ(イライラしない)、脂っこいものや食塩はひかえること。年齢とともに味覚もにぶってくるので、味のある料理は既に塩分が多すぎる。

兆候：めまい、頭痛、突発難聴、物忘れがひどい、口角歪斜、手足のしびれ、心身脱力、言語障害、呑咽障害、突然視力混乱等。